

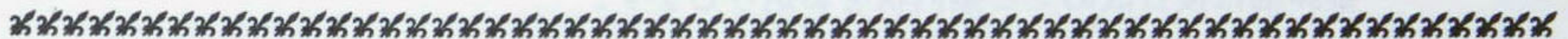


ロータリーに活力を— あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988~89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ● 第256地区ガバナー 樫内悌三郎
 - 会長 — 杉野 奎司 ● 副会長 — 小林 英雄 ● 幹事 — 長谷川有美
 - SAA — 榎本 勝、近藤 雄介 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30~
 - 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
 - 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)
- クラブ会報委員 — 伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一、小林 正義



出席会員数	会員 72名中 52名
先々週出席率	93.06% (前年同期 93.44%)
今日のお花	フリーズア
ヴィジター	埼玉和光より 黒野未徳君 三条南より 池田 繁君、堀越信実君、池田敏雄君、馬場茂夫君 三条北より 山上茂夫君
先週のメイクアップ	3/3 吉田へ 外山一郎君 3/6 三条南へ 近藤雄介君、濱 潔君、広瀬昌寿君、 渡辺喜彦君 3/7 三条北へ 鈴木宗資君、轡田秋夫君、岩井数央君、 五十嵐昭一君

会長挨拶 杉野会長

御挨拶を申し上げます。3月の声を聞きますと、春が近いと感じますが、今年は特に木の芽の吹くのが例年より早い様です。

昨日は3月7日消防の日でした。昭和23年に当時占領下でGHQから警察と消防を分離され独立しました。その日が3月7日で、消防の日となっています。

三条市は昨年の火災は27件でした。一昨年より10件少なく史上最低でした。今年は現在

のところ3件で昨年より3件少なく好調です。私共も予防活動に努力をいたしますが、皆さんの御協力をお願いいたします。

話が変わりますが、国会が波乱含みで年度内に新予算の成立が危ぶない様です。

賄賂政治で有名なのは吉良上野介と田沼意次、江戸中期から後世にかけてその名を残した人ですが、吉良上野介は忠臣蔵に、田沼意次は農民一揆によって権力の座から落ちた様です。

田沼意次は「だれにとっても金銀は命に代え難い宝物である。その宝物を贈って奉公したいという人は、その志が上に忠であることは明らかである。その志の厚蔭は贈り物の多少にあらわれる」といったそうですが、こういう人ですから、大名になってからは徹底的に収賄政治を行なった様です。

機会を見て続きをやらせて頂きますが、今日はこれで挨拶に代えさせて頂きます。

幹事報告 長谷川幹事

伊勢崎南RCより 創立10周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 11月5日(日)

※詳細は後日改めてご案内状をお送りします。

ニコニコボックス ¥5,000

藤田(紘)君 今月はポリオプラス月間です。テーブルのポリオプラス献金BOXへ協力をお願い致します。

今日の卓話は大谷先輩にお願い致しました。ありがとうございました。

小林(九)君 久しぶりの大谷さんの経済講話を楽しみにして。

滝沢君 社員のおかげで公示されましたので。

榎本君 3月2日から5日迄還暦の祝として妻と2人で沖縄へ行って来ました。ひめゆりの塔や新潟県人の塔は、何回行っても、目頭が熱くなります。

卓話 最近の経済情勢

大谷幸平会員

最近の経済の様子をダイジェストでお話します。

今の日本の景気は2年位は続くと云われています。20年前の「いざなぎ」景気が57カ月続きました。現在の景気は28カ月に入っていますが、「いざなぎ」景気拡大と現在の景気の拡大では相違があります。当時は量的拡大、重厚長大、輸出指導型でありました今は技術革新型です。



3年前位は円高で中小零細な企業は倒産するのではと云われていました。燕でも三条でも深刻な問題でした。

しかし、合理化や輸入される材料が大巾に下がる事により相殺され、むしろ今では国内の単価はもっと下がっても良いのではと私達は思っています。なぜ下がらないのか素朴な疑問も持っています。

アメリカではレートの問題からインフレになってもよさそうなんです、そうっていない。このメカニズムには我々もマスコミももっと注目していい。ようは経済の基盤がしっかりしていること。世界の中のどこからでも商品を買っている。あまりにも輸入大国でレートが下がった位で物価を上げる訳にはいかない。企業はそれを合理化努力によってしのいでいる。自由主義が進み、安くないと受け入れられない土壌があると云う様なわけで若干の値上がりはあっても消費者物価に大きくはひびいて来ていない。

アメリカへ行ってみるとわかりますが、日本と比較すると倍、日本の方が高い。経企庁では50%位と云っていますが、実際的には倍の差がある様に感じられる。

日本のメーカーは車でも、家電でもそうですが輸出の単価を下げた分、国内の販売で利益を取っている。割を食っているのは我々日本人なのです。

評論家の広瀬氏は日本の経済を猫ババ経済なんだと評しています。だれかが猫ババして儲けているから値段が下がらない。中でも一番猫ババしているのは日本政府だと云っています。現在税込増加はなにせ7兆円もあるのです。日本の外貨保有高は今世界一です。

大企業では金がダブついていて、それが土地に、ビルに、株に流れ、株式はずっと値上り傾向が進んでいます。

ソ連に政変の可能性があると、ゴルバチョフの人気は国外においては大変高い。しかし、国内においてはペレストロイカの影響を国民が感じていないかどうか不満が爆発寸前までいっている。所得は上っても商品の生産がそれにおいつかず、食品、日用品、テレビ等買いたくとも買えない状況です。

テレビのインタビューに対しても、よくなったのは発言が多少自由になった位だと質問に答えている位です。さらに軍縮にかかわる軍の不満、さらに特権階級の人達の不満などいろいろくすぶっている様です。

前日の長谷川慶太郎氏も今年7~8月頃に50%の確率でゴルバチョフ矢脚の可能性ありと云っておられます。

日本では労働時間の短縮が云われています。アメリカ、ヨーロッパと比べても300時間位の差があります。しかしそれらの国では成長率く、1人当りの実働時間を短かくしても大勢の人達の雇用を増やそうと云う考えの中から出て来ているので、日本の今の状況とは違う。しかし、国の方針で今後益々労働時間が短縮されます。時間を有効に使う事を考え



る事も大変です。

これから益々の合理化、機械化により賃金高によるコストアップ型のインフレは起きないでしょうし、しばらくはこの景気は続いて行くと思われれます。

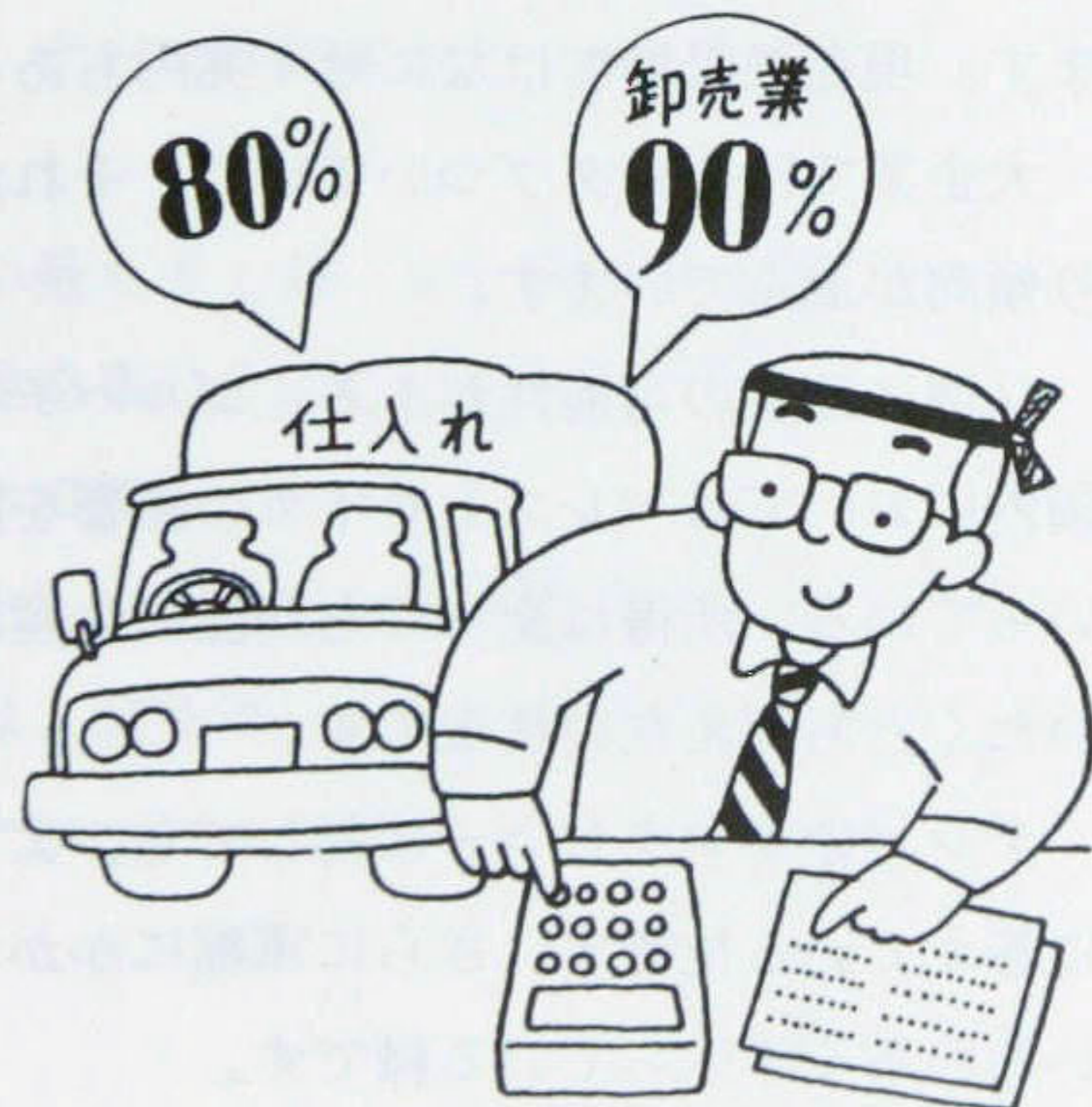
と話の内容はさらに健康に関してまで進みかけ佳境に入って来ましたが、時間のため中断いたしました。

佳境に入る所のお話は次回を楽しみにしたいと思います。

キーワード 「いちご世代」

第2の団塊の世代が^{いちご}15代になった。この世代へのキーワードは「パーソナル化商品」と逆に家族らしさを求めることへの「家族らしさ商品」の2極分化。そして商品特性は高感度、中品質、値こなれ品。

その理由は情報にはウルサク、ダサイ物はいや、マルチを求めるが最高級品にはまだ手がだせないからだ。しかし、このいちご世代が本格的に消費財のリーダーシップをとるのももうあとわずか。



次週例会 3月15日 卓話 「新聞広告と広告事業」
新潟日報社三条営業所 営業所長 漆 良栄殿

次々週例会 3月22日 卓話 高齢者問題委員会
